



齋藤實美術館
インスタチェック!



9/27~
サザコーヒー展楽しみ

ホシイモノ100カフェ
芋づる画廊
内海聖史・卯野和宏
作品展覧
<http://unokazuhiro.net/sakai/index.html>

9月の境町アートプロジェクト情報

内海聖史(画家・境町文化芸術アドバイザー)

暑い夏、いかがお過ごしでしょうか?
我々「境町アートプロジェクト」は、
現在も着々とアート企画を用意してい
ます。

それ以降も、町おこし協力隊・藤原
敏雄企画にて、コロンビア人作家を招
聘した展覧会「シエラの歌」や募集して
いた「国際児童画展」の展示など、本
年度中にもまだまだ企画を続けます。
ホシイモノヒヤッカフェ2Fの「芋づ
る画廊」共々よろしくお願いたしま
す。

①「St.Gallery 齋藤實美術館(境
町坂花町1455-1)では、現在山口
俊郎展「Any Day Now」を開
催中です。多くのご好評をいただい
ており、会期は9月18日(祝)までとなっ
ています。まだの方は是非お越しくだ
さい。

山口俊郎個展
「Any Day Now」
Webサイト



②同美術館では、9月27日(水)~
11月12日(日)「サザコレクション展
コーヒー生産ゾーンはアートゾーン」
を開催する予定です。

道の駅さかいでも取り扱いはある
「サザコーヒー」は茨城県ひたちなか
市に本店があります。その創業者であ
る鈴木蒼志男氏がコーヒー生産地を訪
問する中で魅了されコレクションする
に至った民衆芸術の一部を境町で展開
します。

造形や色彩の豊かさを楽しむだけで
なく、コーヒーと共に、人間とは何か、
社会とは何か、アートが生きる上でど
のように必要とされているのかを知る
機会になりますよ。

③僕(内海聖史) 個人としては、現在
境町内のいくつかのビジュアルデザイ
ンを監修しています。お披露目になっ
たら報告しますので、また町中で目に
してもらえると嬉しく思います。

④「境町アートプロジェクト」作家情報
卯野和宏
「第17回アヴニール展」春風洞画廊
2023年9月7日(木)~
9月16日(土)

内海聖史

「TARO賞の作家III境界を超えて」
川崎市岡本太郎美術館
2023年10月14日(土)~
2024年1月14日(日)

⑤オスス展覧会
東京都現在美術館
「ディヴィット・ホックニー展」
森美術館
2023年11月5日(日)

「ワールド・クラスルーム・現代ア
ートの国語・算数・理科・社会」
2023年9月24日(日)
美術館は涼しいので、暑い時こそ
アートを見てね!

俳句

令和五年八月 境町文化協会俳句部

兼題 「盆の月・朝顔」 他当季雑詠

雨戸明け初咲き朝顔 日の出待つ

すみ子

※朝顔が大好きで大好きで堪らないという作者の気持が、庭一杯に溢れ広がりを見せている。俳句をはじめとして、書道・茶道・民謡など普段から幅広く趣味を嗜む作者らしい盛夏の朝の一コマである。果して、初咲きの花とは紅か、白か、或は絞りの薄紫でもあったのだろうか。

絵手紙の朝顔画面 一ぱいに

むりき

※絵手紙といえば、まず連想するのが、画面から、はみ出しそうに描かれた南瓜・西瓜・茄子胡瓜などの野菜類である。そして、花卉類で忘れられないのが、ダリアとか、作者の大好きな朝顔といった所だろうか。そんな、心の籠った画面一杯の絵手紙・・・一体、何処の何方の手に届いたのだろうか。

下校の子抱えし朝顔空の色
朝顔や散歩の足を止める人
老いてなほ故郷恋し盆の月
父の日の父は気丈にまだ達者
朝顔や咲けば数えてみたくなり
夫恋し父母恋し盆の月
うす雲のただよう中の盆の月
朝顔や色鮮やかに過疎の村
盆の月祭りの子らの下駄の音
煌めきてやがて雲間に盆の月
父母の眠る里山盆の月
老母逝く草蒸す夜道盆の月
朝顔の種のマラカス踊る吾子
子や孫と顔を揃えて盆の月
ちちはのはの影追ふ盆の月夜かな
一朝の命朝顔咲き誇り
朝焼けや朝顔の露風に落つ
朝顔の斯くも短きいのちかな

香 子 芙蓉
慶 子 慶
き 代 子 慶
久 子 久
信 子 信
譲 子 譲
幸 子 幸
正 子 正
妙 子 妙
雄 子 雄
ひろ 子 ひろ
きよ 子 きよ
光 夫 光
春 世 春
喜 一 喜
美 彩 美

短歌

境短歌会 山鳩

やわらかく灯を灯す 提灯が暑さに耐える人々癒す

川 上 京子

窓あけて揺れる提灯ながめては心も弾む 夏祭りかな

川 村 米子

近くまで来しと立ち寄るケアのとも 同病なれば語り尽きま

古 谷 野 信子

短冊に願いを込めて 笹竹に久々つるす七夕祭り

齊 藤 敬子

孫嫁ぎ残る淋しさ 黒猫に話かけても 返事返らず

桜 井 レイ

迎え火に提灯ともして 家に帰る送り火までを 過ごす一時

五 月 女 三 枝子

猛暑日に 水鉢の水湧きかえり ミニ睡蓮も湯につかるごと

鈴 木 喜 興 子

にわか雨あわてて 駆ける狭き道 夢も希望も 濡れ行く盛夏

松 岡 美 智 子

梅雨明けに 祭り太鼓の 音色の響き 百日紅は 風にたわむる

本 島 い と 子

梅雨も明けぬうちから猛暑日が続き、国連の事務総長が「地球沸騰化の時代が到来した」と警告していました。一方で、東北、九州地方では豪雨に見舞われ大変な被害を受け、心を痛めております。これから秋に向かい大きな台風など災害がなければよいと心から願っています。



「広報さかい」「広報さかいお知らせ版」へ有料広告を掲載しませんか?

広告募集中

広告掲載料

◎ 1 段全枠 (44mm× 175mm) 15,000 円

◎ 1 段半枠 (44mm× 85mm) 8,000 円

※詳しくは下記まで問合せください。



問合せ先 秘書広聴課 電話 81-1329 E-mail kouhou@town.ibaraki-sakai.lg.jp

AD